

---

---

# 令和3年度CSR報告書

【対象期間：令和2年10月1日～令和3年9月30日】

株式  
会社 総合サービス

URL:<http://www.sougouservice.co.jp>

作成日：令和4年4月1日

---

---

豊かな緑ときれいな水を創る



株式会社総合サービス

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室7063番地5

TEL:048-722-1501 FAX:048-722-1513

# 1. 事業所の概要

## (1) 事業者名及び代表者名

株式会社総合サービス  
代表取締役 井上史子

## (2) 所在地

本社：〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 7063 番地 5

## (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者 社長 井上史子 担当者 環境事業部部长 甘楽一也

連絡先 TEL 048-722-1501 FAX 048-722-1513

URL : <http://www.sougouservice.co.jp> E-mail: info@sougouservice.co.jp

## (4) 事業内容

産業廃棄物（保管・積替え含む）及び特別管理産業廃棄物の収集・運搬業並びに一般廃棄物の収集・運搬業、紙おむつの販売

## (5) 事業の規模

活動規模	単位	令和1年度 (H30.10~R1.9)	令和2年度 (R1.10~R2.9)	令和3年度 (R2.10~R3.9)
売上高	百万円	364	348	374
処理量	t	3,686	3,767	3,790
従業員	人	12	12	12
車両	台	15	15	15
事業場面積	m <sup>2</sup>	640.14	640.14	640.14
駐車場面積	m <sup>2</sup>	853	853	853

※事業年度は10月1日～翌年9月30日です。（令和3年9月30日現在）

※売上高は紙おむつの販売を含む全部門の売上高です。

※処理量は産業廃棄物、一般廃棄物及び専ら物を収集運搬した数量です。

※従業員は全従業員です。（令和4年4月1日現在）

※車両は運搬用トラック及び営業用車両を含みます。（令和4年4月1日現在）

## (6) 法人設立年月日

平成9年2月7日

## (7) 資本金

1,000万円

## (8) 施設の状況

事業場面積 : 640.14 m<sup>2</sup> (本社事業所 640.14 m<sup>2</sup>)

産業廃棄物の種類	保管の面積	保管の高さ等
廃プラスチック類	8.2 m <sup>2</sup> ×2	1.5m (屋内) (8m <sup>3</sup> コンテナ×2 個)
紙くず	8.2 m <sup>2</sup>	1.5m (屋内) (8m <sup>3</sup> コンテナ×1 個)
木くず	8.2 m <sup>2</sup>	1.5m (屋内) (8m <sup>3</sup> コンテナ×1 個)
金属くず	8.2 m <sup>2</sup>	1.5m (屋内) (8m <sup>3</sup> コンテナ×1 個)
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	8.2 m <sup>2</sup>	1.5m (屋内) (8m <sup>3</sup> コンテナ×1 個)

## (9) 収集・運搬車両一覧表

車両の種類	車種	台数	登録
収集・運搬車両	塵芥車 (4t)	2	産廃
収集・運搬車両	塵芥車 (3t)	1	一般廃
収集・運搬車両	脱着装置付コンテナ専用車 (7t)	1	産廃
収集・運搬車両	脱着装置付コンテナ専用車 (4t)	2	産廃
収集・運搬車両	脱着装置付コンテナ専用車 (6t)	1	産廃
収集・運搬車両	保冷車 (4t)	1	産廃
収集・運搬車両	保冷車 (3t)	1	産廃
収集・運搬車両	冷蔵冷凍車 (3t)	2	産廃
収集・運搬車両	平ボディ車 (2t)	1	産廃
営業車	ステーションワゴン	3	営業車
重機	5t	1	産廃
フォークリフト	2.5t	1	産廃

## (10) 収集・運搬車両低公害車導入状況

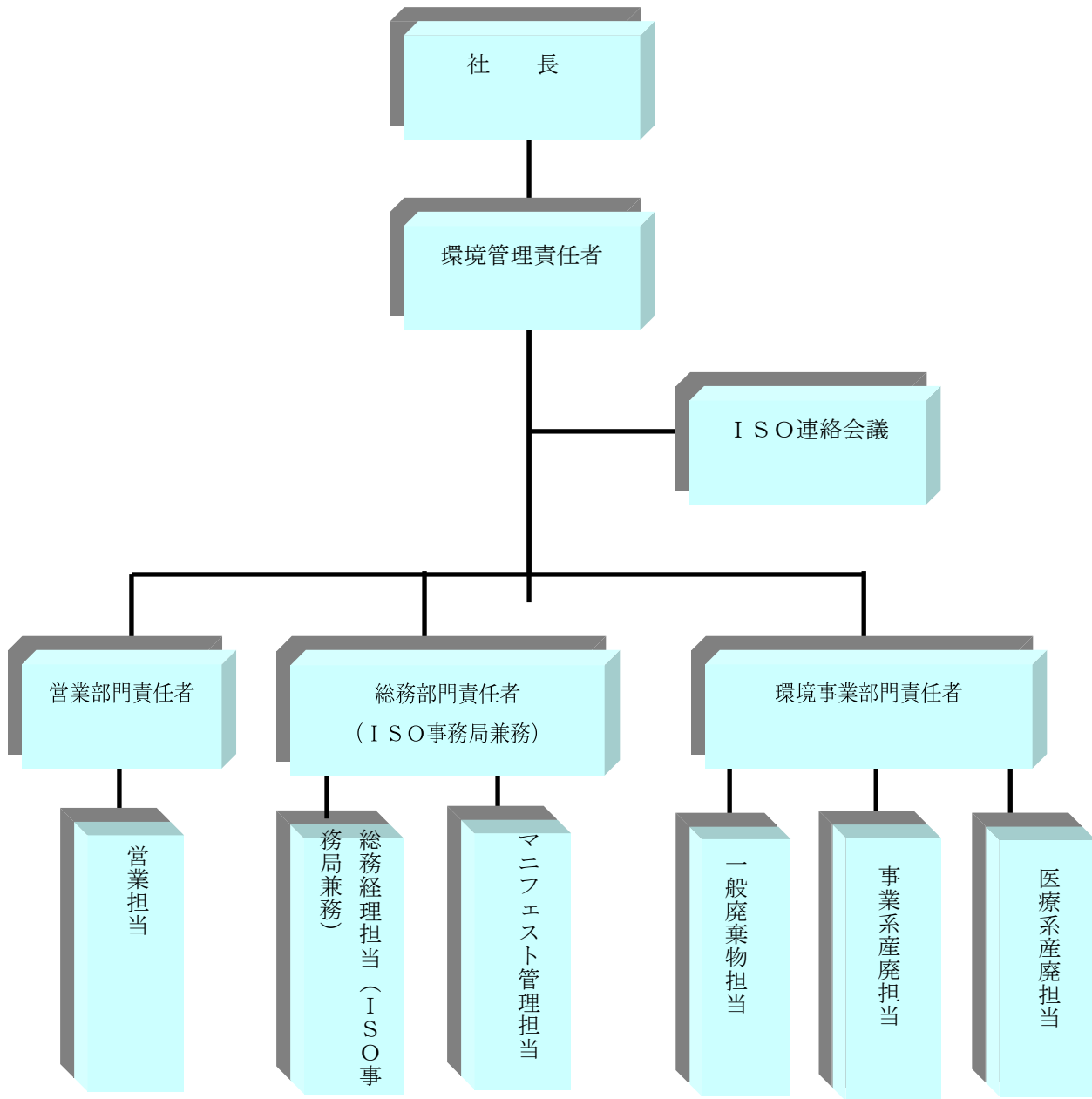
排ガスレベル	車種及び最大積載	台数	割合 (%)
全保有車両 (収集・運搬車)		12	100.0
平成10年度排ガス規制適合車	4t 脱着装置付コンテナ専用車 (2.65t)	1	16.7
	4t 塵芥車 (1.9t)	1	
平成15年度排ガス規制適合車 平成12年度PM-85%排ガス規制適合車	4t 脱着装置付コンテナ専用車 (3.75t)	1	16.7
	2t 平ボディ (2t)	1	
平成16年度規制適合 平成12年度PM-85%排ガス規制適合車	7t 脱着装置付コンテナ専用車 (7.0t)	1	8.3
平成17年度PM-10%排ガス規制適合車	4t 保冷バン (3.1t)	1	25.0
	6t 脱着装置付コンテナ専用車 (4.95t)	1	
	3t 保冷バン (3.0t)	1	
平成21年度排ガス規制適合車		0	0
平成22年度排ガス規制適合車	4t 塵芥車 (1.4t)	1	33.3
	3t 保冷バン (3.0t)	1	
	3t 冷蔵冷凍車 (3.0t)	1	
	3t 塵芥車 (1.7t)	1	

燃費低減レベル	車種及び最大積載	台数	割合 (%)
全保有車両 (収集・運搬車)		12	100.0
平成27年度燃費基準達成車	6t 脱着装置付コンテナ専用車 (4.95t)	1	41.7
	4t 塵芥車 (1.4t)	1	
	3t 保冷バン (3t)	1	
	3t 冷蔵冷凍車 (3.0t)	1	
	3t 塵芥車 (1.7t)	1	

※平成22年度排ガス規制車導入目標。令和3年度目標40%だったが33.3%のままで達成できず。

来年度も現状維持とする。平成27年度燃費基準達成目標50%に対し41.7%達成できず。次年度に先送り

(株)総合サービス 環境組織図



## 2. 主な事業

(1) 産業廃棄物（保管積替えを含む）及び特別管理産業廃棄物収集・運搬業、一般廃棄物収集運搬業  
紙おむつ販売

### ■産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集・運搬業許可証

許可都県	許可番号	廃棄物種類	許可年月日	有効期限	優良認定有無
埼玉県	01111046448	産業廃棄物(保管・積替)	R3. 3. 15	R10. 3. 18	優良
埼玉県	01151046448	特別管理産業廃棄物	R3. 3. 31	R10. 3. 30	優良
東京都	13-00-046448	産業廃棄物	H31. 3. 28	R8. 3. 27	優良
東京都	13-51-046448	特別管理産業廃棄物	H31. 4. 18	R8. 4. 17	優良
千葉県	01200046448	産業廃棄物	R1. 8. 20	R8. 7. 17	優良
千葉県	01250046448	特別管理産業廃棄物	R1. 8. 20	R8. 7. 17	優良
群馬県	01000046448	産業廃棄物	H28. 1. 11	R5. 1. 10	優良
群馬県	01050046448	特別管理産業廃棄物	H28. 1. 11	R5. 1. 10	優良
栃木県	00900046448	産業廃棄物	H28. 2. 24	R5. 2. 23	優良
栃木県	00950046448	特別管理産業廃棄物	H29. 9. 29	R6. 9. 28	優良
神奈川県	01402046448	産業廃棄物	H29. 3. 30	H36. 3. 9	優良
神奈川県	01452046448	特別管理産業廃棄物	H29. 3. 30	H36. 3. 29	優良
茨城県	00801046448	産業廃棄物	H29. 5. 1	R6. 4. 30	優良
茨城県	00851046448	特別管理産業廃棄物	H29. 5. 1	R6. 4. 30	優良
古物商許可		第 431060004018		H10. 4. 22 交付	
東京都産廃エキスパート取得		第 5-20-A 0 0 9 9		R2. 12 認定	
I S O 1 4 0 0 1 2 0 1 5 年度版				R1. 12 認定	

※平成 23 年 7 月 14 日埼玉県において、産業廃棄物収集運搬業及び特別管理産業廃棄物収集運搬業の「優良性評価制度」の認定を受けて以来、一都六県での取得許可全てで優良認定を取得し、継続しています。

### ■一般廃棄物処理業許可証

許可市	許可番号	事業区分	廃棄物種類	許可年月日	有効期限
さいたま市	第 306 号	収集・運搬	事業ごみ	R3. 1. 31	R5. 1. 31
伊奈町	第 16 号	収集・運搬	事業ごみ	R2. 4. 1	R4. 3. 31

■産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集・運搬業許可内容

許可都県市 許可品目	埼玉県	東京都	千葉県	群馬県	栃木県	神奈川県	茨城県
廃プラスチック類	※#●(保積)	※#●	※#●	#●	※#●	※#●	※●
紙くず	●(保積)	●		●	●	●	●
木くず	●(保積)	●	●	●	●	●	●
汚泥	#●		#●	#●	#●	#●	●
金属くず	#●(保積)	#●	#●	#●	#●	#●	●
廃油	●	●	●	●	●	●	●
廃酸	●	●	●			●	●
廃アルカリ	●	●	●			●	●
燃えがら	●		●		●	●	●
ガラスくず陶磁器くず	※#●(保積)	※#●	※#●	#●	※#●	※#●	※●
動植物性残さ	●		●			●	●
がれき類	※●				※●		※●
繊維くず						●	
ゴムくず						●	
感染性廃棄物	●	●	●	●	●	●	●
特管廃油（揮発性）	●						
特管廃油（有害物含む）	●						
特管汚泥（有害物含む）	●						

注1：※印は石綿含有産業廃棄物を含む。#印は水銀使用製品産業廃棄物を含む

注2：埼玉県許可の廃プラスチック類及びガラスくず陶磁器くずの保管積替え許可については、石綿含有産業廃棄物を除くものに限る。

注3：許可年月日は許可を更新した日付です。

注4：埼玉県の特管廃油及び汚泥の有害物とは、トリクロロエチレン及びテトラクロロエチレンの2種類です。

(2) CSR報告書の対象期間

令和3年度（令和2年10月1日～令和3年9月30日）

※CSR報告書に関する年度の表記は、通常の会計年度の表記と異なります。

### 3. 環境方針

---

#### 基本理念

私たち株式会社総合サービスは、産業廃棄物収集・運搬業を通じて環境創造企業としての自覚を持ち、地域においては地球環境の保護に努めてまいりましたが、ISO14001の認証取得を契機により効果的な活動を行うことにより循環型社会の実現と環境の継続的改善に貢献することを目指します。

#### 環境方針

1. 環境に配慮した産業廃棄物収集・運搬業への参画の為、お客様の要求を満たす産業廃棄物処理のサービスを提供します。
2. 環境目標を設定し、その達成を目指すとともに、当社のパフォーマンス向上の為環境マネジメントシステムを継続的に改善します。  
産業廃棄物収集・運搬プロセスを絶えず見直し、環境に配慮したサービスとして、汚染の予防（エネルギー使用の改善、お客様への分別・保管、リサイクル処理の提案及び協力依頼による循環資源の再生利用推進拡大、クレームを削減しての効率改善等）及び環境保護を、改善活動を通して図ります。
3. 企業活動に関連した環境上の法的要求事項及びその他の要求事項を順守します。
4. お客様の諸活動の情報を先取りし、迅速な改善を図り、目標達成に貢献します。
5. 以上の事を組織で働く又は組織のために働くすべての人に周知します。

平成 28 年 4 月 1 日(初版)

株式会社総合サービス代表取締役社長 井上史子

## 4. 環境事業活動計画書及び実績、評価

### (1) 2020年度(2020年10月～2021年9月)環境事業活動計画及び実績

環境方針		1. エネルギー使用を改善する。 2. お客様への分別・保管、リサイクル処理の提案及び協力依頼による循環資源の再生利用の推進拡大。 3. クレームを削減して効率を改善する。 4. カーボンオフセット商品及びグリーン購入を拡大継続してCO <sub>2</sub> 削減につなげる			
No.	環境目標	具体的内容・手段	目標	区分	合計／平均
		目標数値			
1	ドライバーの運転技術の改善／小集団活動の推進、監視・測定による安全運転・エコドライブの推進により、軽油使用料原単位を対前年比1%削減	ドライバーチーム毎の小集団活動を推進/デジタル、ドライブレコーダーの活用による安全運転の推進	1回/月開催	目標	12回
				実績	12回
				判定(○×)	○
		前年平均実績 15.120を2020年度目標 15.000(対前年1%減) ドライバー増員により効率良いルート選び	対前年比1%減	目標	15.00
				当年実績	14.88
				前年実績	15.12
		判定(○×)	○		
2.	循環資源の再生利用の推進拡大。中でも機密書類のリサイクル処理に注力。(再生資源物の拡大)対前年比1%増。新規顧客1件/月獲得	機密書類リサイクル処理推進/新規顧客獲得/優良事業所の維持	新規顧客獲得1件/月	目標	12件
				実績	0件
				判定(○×)	×
		再生資源物対前年実績 320.6tを2020年度目標 323.8t(対前年1%増)	対前年比1%増	目標	353.2
				当年実績	320.56
				前年実績	349.7
		判定(○×)	×		
3.	安全・品質に配慮した収集運搬の推進/事故・クレームの発生抑制の推進(クレーム件数の削減)	クレーム発生抑制を推進する。/回収作業の危険箇所の洗い出し/契約の継続を確認する。	発生件数1件以下/月(交通事故含む)	目標	0件
				当年実績	1件
				前年実績	0件
				判定(○×)	×
4.	カーボンオフセット商品の利用及びグリーン購入の推進によるCO <sub>2</sub> 削減	継続的することによりCO <sub>2</sub> 削減に取り組む		具体的な目標はないが適用範囲を広げていく	



(2) 2020 年度環境事業活動に対する評価

No.	2020 年度上期	2020 年度下期
1	<p>昨年 9 月に 1 名本年の 1 月に 1 名、合計 2 名のドライバーを採用した。その結果、過剰な回収業務や無理な回収ルート等を改善出来き本来のエコドライブや小集団活動が可能となり、目標はほぼ達成できた。</p>	<p>1 年間の平均値は達成した。しかし 4 月以降の下期について、ほとんどの月で達成出来なかった。上期と同様にドライバーはエコドライブに意識してるし、回収数量や地理的要因も考えられない、この原因は良く分析しないと分からないが、毎年 1 % の改善にも限界があり、今後目標とするか検討の余地あり。</p>
2	<p>コロナ禍の状況で、前期の課題であった、新規顧客の訪問アポも取れず、開拓ができなかった。業務引継ぎに時間が取られ営業活動ができなかった。その結果目標達成できなかった。</p>	<p>コロナ禍は当分続くと思われる。なかなか得意先訪問は難しい。ホームページの見直しをしながら、この事項をしっかりと明記することでカバーしたい。</p>
3	<p>昨年 9 月に採用したドライバー経験の浅い新人ドライバーが 10 月と 12 月に事故をおこした。いずれも左右のオーバーハングの見極めの不十分が原因で柱等への接触事故となった。事故後先輩ドライバーを助手に付け継続指導を行った結果、本年になってから、事故は発生していない。</p>	<p>OJT の効果もあり、新人ドライバーの事故は無くなった。今後も継続してドライバー教育をしていく。</p>
4	<p>●カーボンオフセット認定商品及びグリーン購入の利用拡大については、決まった事務用品に限定されている。これについては継続項目として取り組んでいく。</p>	

(3) 2021年度(2021年10月~2022年9月)環境事業活動計画

環境方針		1. エネルギー使用を改善する。 2. お客様への分別・保管、リサイクル処理の提案及び協力依頼による循環資源の再生利用の推進拡大。 3. クレームを削減して効率を改善する。 4. カーボンオフセット商品及びグリーン購入を拡大継続してCO <sub>2</sub> 削減につなげる			
No.	環境目標	具体的内容・手段	目標	区分	合計/平均
		目標数値			
1.	ドライバーの運転技術の改善 /小集団活動の推進、監視・測定による安全運転・エコドライブの推進により、軽油使用料原単位を対前年比1%削減	小集団活動を推進し、情報収集力及び提案力アップ、営業マン不足を補えるまでスキルアップを図る	1回/月開催	目標	12回
				実績	
				判定(○×)	
		全社で前年平均実績15,000を2021年度目標14,880(対前年1%減)ドライバー別に積載量やルートの見直しで個別の目標を設定する	対前年比1%減	目標	14.88
	当年実績				
	前年実績	14.88			
	判定(○×)				
2.	循環資源の再生利用の推進拡大。中でも機密書類のリサイクル処理に注力。(専ら物の拡大)対前年比1%増。新規顧客1件/月獲得	機密書類リサイクル処理推進/新規顧客獲得/優良事業所の維持	新規顧客獲得1件/月	目標	12件
				実績	
				判定(○×)	
		再生資源再利用対前年実績372.17tを2021年度目標375.89t(対前年1%増)	対前年比1%増	目標	375.89
	当年実績				
	前年実績	372.17			
	判定(○×)				
3.	安全・品質に配慮した収集運搬の推進/事故・クレームの発生抑制の推進(クレーム件数の削減)	クレーム発生抑制を推進する。/回収作業の危険箇所の洗い出し/契約の継続を確認する。	発生件数1件以下/月(交通事故含む)	目標	0件
				当年実績	
				前年実績	2件
				判定(○×)	
4.	カーボンオフセット商品の利用及びグリーン購入の推進によるCO <sub>2</sub> 削減継続的することによりCO <sub>2</sub> 削減に取り組む 具体的な目標はないが適用範囲を広げていく				

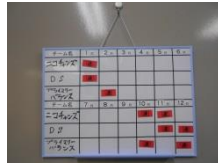
#### (4) 教育訓練

従業員全員のレベル向上及び緊急事態に対応するため、計画的に従業員教育及び訓練を実施しています。

##### 【教育事例】



外部講師を招いての  
エコドライブ講習  
(必要時実施)



小集団活動の結果  
公表掲示  
(月1回実施)



感染性廃棄物取扱時の  
針刺し事故防止訓練  
(年1回実施)



火災発生時の消火活動訓練  
(年1回実施)



感染性医療廃棄物(コロナ)消毒訓練(当面年1回実施)

#### (5) 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社の事業活動に関し、適用される環境関連法規は、廃棄物、車両・運送、各市環境条例などです。

また法令等の改正の状況を把握するため、総務省法令情報提供システムなどを利用し、常に最新の法令等を確認しています。

当社はこれらの法律及び条例に基づき適正に事業活動を行っており、過去5年間において違反や関係機関からの指摘、また訴訟や苦情に関してもありません。

令和4年4月1日

株式会社総合サービス 代表取締役社長 井上史子

#### (6) 全体としての評価及び見直し

環境活動計画は、環境方針に基づき設定されており、活動に実態や計画達成度もほぼ達成されている。

特に的を絞った計画を立てていることが高い達成率につながっていると考える。

問題点としては人的資源が事業規模を拡大するうえでのネックとなっている。

今後とも一人ひとりのスキル向上の為社員教育を計画的に実施していく。

また廃棄物全体の市場縮小が想定されるため、事業の柱を増やす必要がある。

以上

## 5. ライフサイクルアセスメント（LCA）活動について

弊社の事業活動に伴い発生する環境負荷の中で主なものは、自動車の燃料の使用する軽油に伴い発生するCO<sub>2</sub>となります。

弊社では小集団活動を通じ、エコドライブの徹底による燃費の向上を恒久的な目標としています。

廃棄物運搬用車両が1年間に使用した軽油の数量をその年度に運搬した廃棄物の数量で除した数字をCO<sub>2</sub>排出量の原単位として管理し、CO<sub>2</sub>排出量の管理、削減に努めています。

### 2020年度実績と次年度目標

年度	軽油使用数量 (ℓ)	CO <sub>2</sub> 排出数量 (総数量) (Kg - CO <sub>2</sub> / t)	廃棄物運搬数量 (t) ※	CO <sub>2</sub> 排出数量 (原単位) (Kg - CO <sub>2</sub> / t) / t ※
2019年度実績(前期)	55,911	144,250	3,594	40.14
2020年度実績(今期)	57,109	147,341	3,686	39.97
2021年度計画(来期)	57,109	147,341	3,723	39.58

※CO<sub>2</sub> 発生数量の計算式；軽油使用数量 (ℓ) × 排出係数 (2.58)

※次年度目標；CO<sub>2</sub> 発生数量の原単位を1%低減する

評価；結果的に目標は達成できたが、運搬先の距離、一度に回収する数量、給油のタイミングなど変動する要因が多い。今後とも各ドライバーの意識改革を継続していく

。